

インセクツ・ウィンドアンサンブル  
INSECTS WIND ENSEMBLE

&

「管楽合奏は楽しい会？」

KANGAKUGASSOU HA TANOSIIKAI?

指揮：菅原 眸・森川 一

HITOMI SUGAWARA・HASHIME MORIKAWA

# JOINT CONCERT

JOINT CONCERT

INSECTS WIND ENSEMBLE

KANGAKUGASSOU HA TANOSIIKAI?



E. ベルナール： 嬉遊曲 作品36 (管楽10重奏)

成本 理香(編)：「日本の歌メドレー」(管楽10重奏)

J. ミスリヴィチュク：「八重奏曲 第1番」

R. シュトラウス： 管楽の為の「組曲」 作品4 (管楽13重奏)

2012年 5月12日(土)

開場 13:30 開演 14:00

タワーホール船堀 小ホール

全席自由 1,000円(当日券あり)

(都営新宿線 船堀駅 徒歩1分)

各団体のホームページ

<http://iwe.sakura.ne.jp/>

【インセクツ・ウィンドアンサンブル】

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~wolfy/> 【管楽合奏は楽しい会?】

問合せ及びチケット販売

[heckelfg@gmail.com](mailto:heckelfg@gmail.com)

【森川】

<http://www.jdri.jp/>

【日本ダブルリード株式会社(JDR)】

## 指揮：菅原 暉（すがわらひとみ）

法政大学在学中よりファゴットを始め、中田一次氏に師事。その後、東京藝術大学に入学、卒業後NHK交響楽団(N響)に入団。在団中にドイツ・デトモルトの北西ドイツ音楽大学でA.ヘニゲ氏に師事する。N響ではコントラファゴットの名手として、また「ひげ」の名物ファゴット奏者としても鳴らした。退団後、愛知県立芸術大学教授に就任、後進の指導にも力を注ぐ。在任中に結成した同大卒業生、在校生による木管アンサンブルグループ「アンサンブル・オブ・アイチ・ジャパン」は現在も音楽監督を務めている。99年定年退官し、日本ファゴット(バスン)協会会長を務める傍ら、千葉大学管弦団、東京大学音楽部管弦楽団など多数のアマチュアオーケストラの指導にもあたっている。ハルモニア木管アンサンブル音楽監督の他、保谷混声合唱団(テノールパート)にも所属。

## INSECTS Wind Ensemble

1985年に千葉大学管弦楽団出身者を中心として結成された、現在16名から成る木管アンサンブル団体です。創設以来24年間一貫し千葉大学管弦楽団トレーナーでもある菅原暉先生を音楽監督として迎え御指導頂いています。団体名「インセクツ」は音楽の「虫」が由来で、好きな音楽を演奏するという目的の元活動しています。年1回の定期演奏会を主な活動とし、木管3重奏から16重奏まで多彩な編成のプログラムを展開しています。過去の演奏曲数は延べ90曲強にものぼり、大編成ではドヴォルザークの管楽セレナーデ、モーツァルトのセレナーデ「グラン・パルティータ」、リヒャルト・シュトラウスのセレナーデ、13管楽器の為の組曲、ソナチネ第1番、第2番等があります。06年にはドイツへ演奏旅行(エンディング市音楽祭等に参加)を行い、好評を博しました。

## 指揮：森川 一（もりかわはしめ）

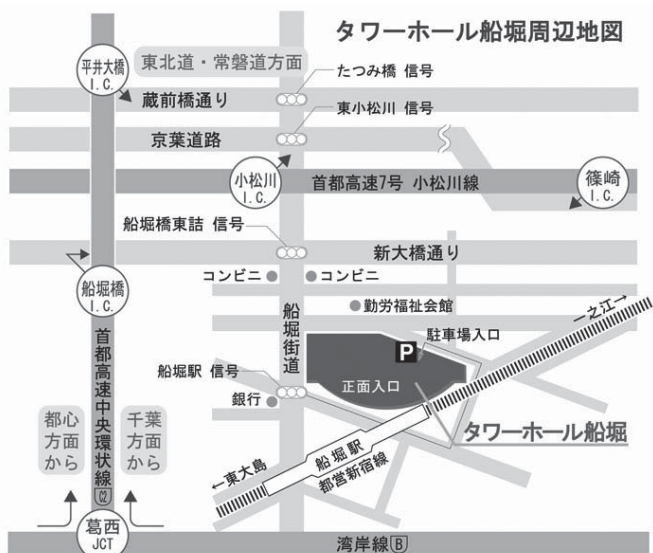
会津若松市出身。中学からユーホニウムを吹き、県立会津高校ではトレーナー、指揮も行う。会津市民オーケでモーツァルト交響曲31番「パリ」を指揮。法政大学交響楽団入団と同時にファゴットを菅原暉氏に師事し、藝大別科では三田平八郎氏、別科修了後に元ハンブルク州立劇場奏者・藝大客員教授F.ヘンカー氏に師事。同氏の勧めでバイロイト青少年音楽祭に参加。その後フリーランス奏者として活動。78年より毎年ソロ・室内楽演奏会を主催。また菅原暉指揮/N響団友オーケストラとモーツァルト、ウェーバーの協奏曲と協奏交響曲を演奏。同曲は在京アマチュアオーケでも演奏する。またリード製作での評価も高く「森川リード倶楽部」を主宰。「バンドジャーナル」、教育誌や室内楽CD解説などに執筆、特に「パイパーズ」ではドイツの歌劇事情に付いて連載する。最近は指揮者、トレーナー活動も増えている。森川室内楽主宰

## 管楽合奏は楽しい会？

主宰者の森川が「最近音楽や演奏を楽しんでいるのか」と思った事が、そもそものきっかけです。楽器を始めた時は音を出すだけで楽しかった筈なのに、それが仕事になったら音楽や合奏を純粋に楽しめなくなった気がしたのです。もちろんプロとして演奏する事の楽しみや喜びもあるのですけれど。

下手でも楽しいなどは考えていませんが、あの新鮮な感覚を取り戻したい、大らかで気持ちが豊かになる様な音楽をしたかったのが始まりです。元来菅原先生がやっておられた「東京木管合奏団」の様な活動がしたかったので、演奏形態を管楽合奏にしました。当初はプロの合奏団として出発したのですが、97年からプロアマ混成の団体になりました。アマチュアでも同様に考える人は少なくなかったからです。

"管楽合奏は楽しい会?"は文字通り管楽合奏の楽しさを追求しています。プロとアマが合奏をする事で、その間にあると思われる「最良の演奏」を狙う団体です。つまり「プロの技術で、アマチュアの心」を持った演奏が出来れば、これこそが「フィルハーモニー」だろうと考えるのです。



TOWER HALL FUNABORI  
タワーホール船堀

タワーホール船堀

〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1  
TEL:03-5676-2211 (代)  
FAX:03-5676-2501  
<http://www.towerhall.jp/#>